

平成30年度日米共同統合演習(実動演習)について

平成30年10月
防衛省

平成30年度日米共同統合演習（実動演習）について

演習の目的

日米共同統合演習（実動演習）は、我が国防衛のために必要な統合運用（自衛隊相互間の連携要領）及び米軍との共同対処（連携要領）の維持・向上のために実施します。

演習の沿革

日米共同統合演習は、昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は、実動演習であり、14回目の実施となります。

演習の実施場所

我が国の周辺海空域や自衛隊及び米軍基地等を使用して訓練を実施します。このほか、米国グアム島、北マリアナ諸島テニアン島及び同周辺海空域においても訓練を実施します。

演習の実施期間

平成30年10月29日（月）～11月8日（木）の間で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に影響を及ぼさないよう、十分に配慮いたします。

演習の内容

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動及び米軍との連携要領を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。本演習は、特定の国や地域等を対象としたものではありませんが、我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させること及び日米の共同対処能力の向上を通じて、国民の安心・安全の確保に資することが出来るものです。

平成30年度日米共同統合演習（実動演習）の 横田基地における訓練について

- 全国規模で実施する日米共同統合演習の一環として、統合後方補給（輸送）訓練、空挺降投下訓練を実施します。
- 統合後方補給（輸送）訓練では、米軍輸送機C-17により、弾薬等コンテナを横田基地から岩国基地へ空輸します。
- 空挺降投下訓練では、横田基地において、重物料の梱包・点検、陸上自衛隊員及び重物料の米軍輸送機C-130への搭乗並びに搭載を実施します。
なお、横田基地における空挺降投下の予定はありません。
- 米軍人は、米軍航空機内及び地上において、本訓練を実施します。
- 訓練は、安全管理を徹底するとともに、周辺住民の皆様の生活に可能な限り影響を及ぼさないよう、配慮いたします。

統合後方補給訓練（輸送）における訓練内容について （イメージ図）

統合後方補給（輸送）訓練



規模
（基準）

- 参加人員
自衛隊人員 約20名
米軍 約10名
- 搭載物
コンテナ 約3本
- 航空機
米軍C-17×1

* 米軍機は、横田基地～岩国基地～空自新田原基地～福岡空港～横田基地の経路で行動します。



空挺降投下訓練における訓練内容について (イメージ図)

空挺降投下訓練



規模 (基準)

- 参加人員
自衛隊人員 約300名
車両 約85両
米軍 約10名(操縦士等)
- 航空機
空自C-130×1
米軍C-130×3

※ 米軍機は、横田基地（築城基地）～日出生台（降投下）～横田基地の経路で行動します。

